

## 圧力タンクの空気圧の調整方法

最近、フォーセットを全開しても購入時の様な水の勢いがなくなったと感じたことはありませんでしょうか？  
強いのは最初だけで直ぐに弱くなってしまうという症状が出たら以下の様な原因が考えられます。

- 1 **フィルターの詰まり(特に前処理)**      可能性50%  
フィルターが詰まり逆浸透膜フィルターの部分の圧力が不足し浄水が少ししかできます。3年以上交換していない場合は非常に可能性が高まります。
- 2 **タンクの空気圧の減少している。**      可能性40%  
購入時から5年以上経過していたら可能性が高まります。
- 3 **ポンプの故障により正常な圧力まで加圧されていない。**  
(ポンプを内蔵した機種の場合)      可能性10%

フィルターを交換しても改善されない場合は高確率でタンクの空気圧の不足が原因の可能性が非常に高いと思います。  
フォーセットからタンク内の水を出し切った状態(チョロチョロ)でタンクを持ち上げた際にずっしりと重い場合は水がタンクに残っています。タンクの空気圧不足の可能性は100%です。  
因み10Lタンクの自重は3kg-3.5kg程度ですので、それより重い分の水がタンクに残っている事になります。

圧力タンクの内部は空気の入る層と水の入る層の2層に分かれています。家庭用の小型のタンクは空気の入る部分は底の部分にあり浄水された水は安全性の高いポリプロピレン製の袋の中に貯水されます。間はゴム製のダイヤフラムで仕切られています。

容器の表面は金属ですが水に直接触れる事はありません。

空気の入る部分は車のタイヤと同様な形の吸入口があり圧力が調整できる様になっています。注入口は標準的な10Lのタンクの場合は側面のやや下の部分にあります。正面のラベルが貼られた部分の下の青いキャップを外すと車のタイヤと同じ形の注入口が現れます。

空気の注入口は機種により底に付いている場合もあります。小型のタンクは底の場合が多く逆に業務用などの大型のタンクの場合は上に付いている場合もあります。

タンクの空気圧の適正値は0.45kg～0.5kg程度です。出荷時に調整済みの状態ですが車や自転車のタイヤと同様に少しずつ抜けていきます。

空気圧が低下すると水を押し出す力が不足しフォーセットを全開にしても水の勢いが落ちてしまいます。最終的にはタンクが満水でも押し出せないという状態になってしまいます。

5年ぐらい経過するとそのような症状が現れる場合が多いようです。使い勝手が悪くなるのは勿論ですがタンク内の循環が悪くなりますので衛生的にも好ましくありません。自転車用の空気入れで簡単に補充する事ができますので試してみてください。

また空気圧の減少が原因で満水の状態からフォーセットを開いてからポンプが動作するまでの時間が短くなる現象も現れます。TDS(水質)の悪化にも繋がります。

**空気圧の補充方法は以下の通りです。**

**準備する物 両手で押すタイプの手動の空気入れ**

両手で押すタイプの1000円程度の安価な物で充分です。

下記の写真の様な補助タンクが付いたタイプだと軽い力で補充できます。圧力計の付いた製品もありますが1kg以下の詳細な測定は出来ませんので殆ど意味がありません。

デジタルの空気圧計なら0.05kg程度の刻みで正確に測定できます。但し、それほど正確に調整する必要はないので購入しなくても大丈夫です。

最初に10Lタンクの例を紹介します。これは当店の5段階や6段階のアンダーシンク型に標準で付属している10Lタンクです。注入口は側面にあります。側面の青いキャップを外して注入します。

4Lタンク、7Lタンク、30Lタンクは底の部分に注入口があります。これらのタンクに付いては後半で説明します。

**空気を入れる前の準備**

- 1 ポンプ付の機種の場合は電源を抜きます。
- 2 水道の元栓(ボールバルブ)を閉めます。
- 3 フォーセットを開きタンクから水が出なくなるまで待つ。  
フォーセットは開いたままの状態で作業します。

まずは10Lタンクの作業前の状態の写真をご覧ください。  
空気注入口の位置を確認してください。  
タンクの上部のバルブは開いたままの状態で作業を行います。

標準で付属している10Lタンクです。吸入口は側面のラベルの下にあります。側面の青いキャップを外して注入します。



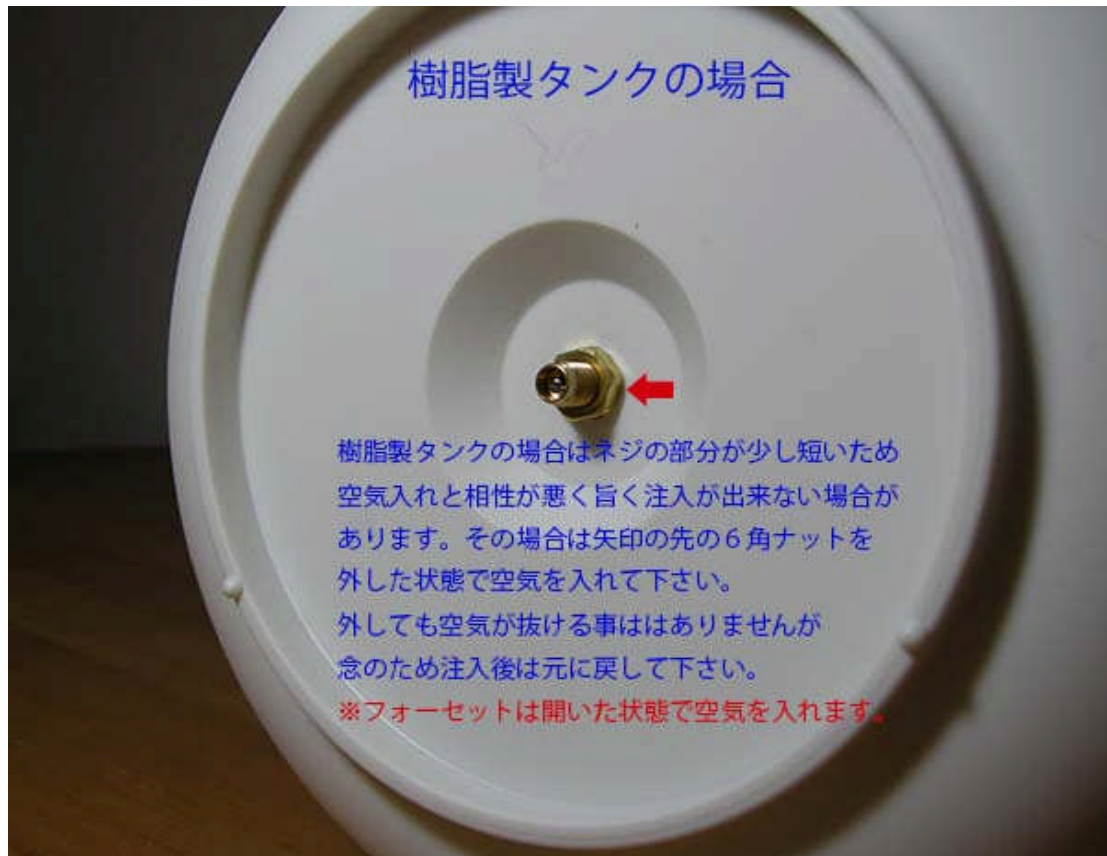
空気入れを接続した状態の写真です。



空気を入れ始めるとタンク内に残っている水がフォーセットから出ます。沢山、残っている場合は結構時間が係るかもしれません。水が出なくなったら更に15回程度、空気を注入します。注入が完了しましたら空気入れを外し元栓を開き電源を入れます。フォーセットからチョロチョロ状態に水が出るようになったら数分後にフォーセットを閉めるとタンクへの貯水が始まります。一杯になるまで1時間～2時間係ります。

このタンクは空気入れと相性が非常に良く市販の殆どの空気入れが接続できると思います。今回の写真の空気入れは5年ぐらい前に500円程度で購入した物ですが今でも問題なく使用できます。

次に樹脂製の7リットル、10リットル、スチール製4Lタンクの空気圧の調整方法です。この3機種はタンクの底に空気の補充口があります。やや大きな30Lのタンクも底面に吸入口があります。



タンク内の水が完全に無くなった状態からポンプを押す回数はタンクの容量によって異なります。目安としては10Lタンクが15回、7Lタンクが10回、4Lタンクが5回という感じです。

空気の注入口から水が出る場合は故障しています。正常ならここから水が出ることはないので交換が必要です。空気入れとの相性が問題ないのに空気が入らない場合も壊れている可能性があります。いくら入れても空気が抜けてポンプが重くならない場合は壊れている可能性があります。



## お勧めの空気入れ（次ページに写真掲載）

Panaracer 空気入れ NEW楽々ポンプ BFP-PSAY1(黄色)  
対応バルブ方式:米式、仏式※アダプター使用、英式  
本体も軽量で軽い力で空気を入れる事が出来ます。  
当店では販売していませんのでアマゾンで買ってください。  
現時点でプライム会員なら送料込1500円前後です。  
色が3色から選択できるのですが価格が結構違います。

空気圧計は特別にお勧めという機種は無いのですが  
AstroAI エアゲージ タイヤゲージ デジタル 空気圧ゲージが  
しっかりした作りで好感が持っています。車の測定も可能。  
0.05kg/cm<sup>2</sup>単位で表示可能です。単位も変更できます。  
タンク圧は0.5kg/cm<sup>2</sup> に合わせていただければ  
5年ぐらいは持つと思います。





## Bi-directional "Push-Pull" Head Design For Dual(dually) Truck & Trailer Tires

